

千葉大学病院にて胸壁浸潤肺癌に対し外科的治療をされた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年5月1日

呼吸器外科

呼吸器科では、「当院に置おける胸壁合併切除手術の臨床的背景とその予後の後方視的研究」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2011年1月11日～2022年12月31日の間に当院呼吸器外科にて胸壁浸潤肺癌に対し外科的手術をされた方

1. 研究課題名

「当院における胸壁合併切除手術の臨床的背景とその予後の後方視的研究」

2. 研究期間

2023年承認日～2024年12月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

胸壁浸潤を伴う胸部悪性腫瘍に対し、根治目的に胸壁合併切除術を行う場合があります。局所進行癌であり一般的には予後が不良といわれています。

術前、術後には化学療法、放射線療法を併用する 경우가多く、他の診療科と協力しながら集学的治療が行われます。

胸壁浸潤肺癌の治療では、腫瘍が完全に切除できたか、リンパ節転移があるか、胸壁への浸潤の程度（骨まで浸潤しているか、筋肉まで浸潤しているか、神経まで浸潤しているかどうか）が挙げられます。

当科にて行われた胸壁浸潤肺癌に対し手術療法を行った患者様の臨床的背景、集学的治療内容、手術術式、手術後の追加治療などを電子カルテの情報をを用い後方視的に解析、検証して予後などを算出し今後の肺癌診療の一助とすることが本研究の目的です。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテ診療記録に記載されている

年齢、性別、ECOG PS、生活歴（飲酒・喫煙など）、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴
生化学検査、血液学的検査等の臨床検査結果

集学的治療内容、臨床病期、手術術式、病理病期、予後などを用います。

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究（代表）機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：呼吸器外科 准教授 鈴木秀海

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院呼吸器外科臨床研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なく

お申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

医師 由佐城太郎

043(222)7171 内線72205